



渋谷109前で総勢約2,000名の大パレード！
南九州最大の祭り「おはら祭」が、今年も縁ある渋谷にやってくる！
「第13回 渋谷・鹿児島おはら祭」開催決定
～ 2010年5月15日(土)・16日(日) 開催～

NPO 渋谷・鹿児島文化等交流促進協議会(東京都渋谷区代々木、理事長:谷村昭一)は、2010年5月15日(土)、16日(日)の2日間にわたり、南九州最大の祭りである「おはら祭」を渋谷の街で再現する『第13回 渋谷・鹿児島おはら祭』を開催いたします。(特別後援:渋谷区、鹿児島市)

この祭りは、渋谷区と鹿児島市がこれまでも様々な歴史的つながりがあることから、文化等交流の一環として、渋谷区の協力により開催されるものです。

5月15日(土)の『プレおはら』では、明治神宮にて、祭の安全を祈願する「奉納踊り」が行われます。さらに渋谷 C.C.Lemon ホールにて、小さいお子さんに大人気の“つくってあそぼショー”や、合田道人さんによる「童謡の風景コンサート」を実施し、「TOKYO おはら」、「おはら節」の総踊りで『プレおはら』を締めくくります。

5月16日(日)に開催される『おはら本まつり』では、約2,000名の踊り手が51の“踊り連”に分かれて「おはら節」、「ハンヤ節」、「渋谷音頭」、「TOKYO おはら」の4曲に合わせ、渋谷の道玄坂通りと文化村通りで「踊りパレード」を実施。また、東郷神社にて、薩摩に伝わり多くの薩摩藩士が学んだ剣術「薬丸野太刀自顕流」の迫力ある演武を奉納いたします。

ぜひ、「第13回 渋谷・鹿児島おはら祭」の開催告知をご紹介しますよう、お願い申し上げます。

開催概要

- 1 開催日 2010年5月15日(土)～16日(日) 2日間
- 2 主催 NPO 渋谷・鹿児島文化等交流促進協議会
- 3 特別後援 渋谷区、鹿児島市
- 4 内容

「おはら本まつり」2010年5月16日(日)

【薬丸野太刀自顕流奉納演武】会場/東郷神社神殿前広場 時間/9:30～10:00

【踊りパレード】会場/渋谷道玄坂通り・文化村通り 時間/12:50～16:00 (小雨決行)

「プレおはら」2010年5月15日(土)

【奉納踊り】会場/明治神宮本殿前広場 時間/10:50～11:30

【鈴かけ馬踊り】会場/明治神宮原宿口広場 時間/10:30～16:30

【つくってあそぼショー/童謡の風景コンサート/総踊り】会場/渋谷 C.C.Lemon ホール 時間/13:00～15:20

「渋谷・鹿児島おはら祭」大会運営委員会 事務局 TEL : 03-3373-7381

「渋谷・鹿児島おはら祭」公式 HP : <http://www.shibuyadeohara.jp>

<「おはら祭」に関するお問い合わせ先>

鹿児島市かごしまプロモーション推進室東京分室

担当:三浦/柿元 TEL:03-5226-5040(直通) FAX:03-5276-7150 MAIL:kpromo05@city.kagoshima.lg.jp

<報道関係者様お問い合わせ先>

「第13回 渋谷・鹿児島おはら祭」PR事務局(株式会社プラチナム内)

担当:宮原/菅 TEL:03-5572-6071 FAX:03-5572-6075 MAIL:y-miyahara@vectorinc.co.jp

2010年5月16日(日)「おはら本まつり」詳細

【踊りパレード】(渋谷道玄坂通り・文化村通り 12:50～16:00)

関東連、鹿児島連の約2,000名の踊り連が、渋谷道玄坂・文化村通りにて、「おはら節」、「ハンヤ節」、「渋谷音頭」、「TOKYO おはら」に合わせて踊りパレードを繰り広げます。

特に伝統的な踊りに新しい感覚を組み合わせさせた若者らしい生き生きとした踊り手を養成することを目的に結成された「鹿児島市ヤング踊り連」の踊りは華麗で迫力十分です。



踊りパレード



鹿児島市ヤング踊り連

また、当日は鹿児島の偉人である、西郷隆盛や大久保利通、篤姫などに扮した、「かごしま観光PRキャラバン隊」も登場し、祭りを盛り上げます。



かごしま観光PRキャラバン隊

【薬丸野太刀自顕流奉納演武】(東郷神社神殿前広場 9:30～10:00)

薬丸自顕流とは、薩摩藩士薬丸兼陳が示現流を修めた後、家伝の野太刀の技を元に編み出した剣術です。空気を切り裂くような叫び声と剣を振り下ろす勇ましさが見事なこの演武を、東郷神社神殿前広場で披露します。



演武の様子

2010年5月15日(土)「ブレおはら」詳細

【奉納踊り】(明治神宮本殿前広場 10:50～11:30)

「第13回 渋谷・鹿児島おはら祭」の安全を祈願して踊りの奉納が行われます。明治神宮の宝物展示室には明治天皇の鹿児島鶴丸城行幸の絵画や芋焼酎など、鹿児島と縁のある品々が展示されています。

【鈴かけ馬踊り】(明治神宮原宿口広場 10:30～16:30)

鹿児島から来た花や錦などの飾りをつけた鈴かけ馬が、囃子歌、鉦や太鼓、三味線に合わせてリズムカルに踊り、その後を踊り連が練り歩きます。

【つくってあそぼショー / 童謡の風景コンサート / 総踊り】 (渋谷 C.C.Lemon ホール 13:00 ~ 15:20)

入場無料

第1部: 歌もいっぱい“つくってあそぼショー”

小さいお子さんに大人気の“つくってあそぼ”(NHK教育テレビで放送中)が、
渋谷・鹿児島おはら祭のプレおはらステージに登場!

今年で20年目を迎える「つくってあそぼ」は子供たちの身近な素材を使って、自由な“つくる意欲”を生み出すことを願って制作されている長寿番組です。ワクワクさんとゴロリによる“ホンモノ”のライブステージをお楽しみ下さい。歌のおねえさん松原美香さんと、ダンサーAKO P(アコピー)の楽しい歌のコーナーもあります。



ワクワクさんとゴロリ



松原美香、AKO P(アコピー)

第2部: 合田道人(ごうだ みちと)「童謡の風景コンサート」

みんなで学ぼう! 童謡なぞなぞコンサート

“七つの子” “春の小川” “どんぐりころころ” “赤とんぼ”等々、童謡博士の合田道人さんが童謡に隠された意味やその曲の誕生エピソードをひも解きながら、日本人の心を甘い歌声と共につづる楽しいトークショーです。



合田道人

エンディング: 「総踊り」

鹿児島市ヤング踊り連の「TOKYO おはら」、関東踊り連の「おはら節」の総踊りで幕を閉じます。

渋谷・鹿児島おはら祭 イベント案内図



渋谷でなぜ、「おはら」?

【鹿児島出身の東郷平八郎のルーツは渋谷にあり】
日本海海戦で知られる鹿児島出身の連合艦隊司令長官、東郷平八郎元帥を祀る東郷神社が渋谷にあるのは、渋谷が東郷元帥の祖先の地だからという所以があります。十二世紀、渋谷一帯は相模の国の豪族・渋谷氏が所領していましたが、源平合戦の功により薩摩の地に所領を得て、五つの家に別れ、その一つが東郷家であったといわれています。東郷平八郎元帥の没後、元帥のルーツの地である渋谷に東郷神社が建てられました。



東郷平八郎



東郷神社

【西郷隆盛が通った「西郷どんの馬車道」】
西郷隆盛の弟で明治の功臣・西郷従道の住まいは、南平台に近い目黒の青葉台にあって現在西郷山公園となっています。従道の館には兄の隆盛や大山巖もしばしば駐留しており、兄弟は館を出ると馬車で鶯谷町と桜丘町の堺を抜け、渋谷を経て、青山通りを経て中央官庁に通っていました。当時この道を「西郷どんの馬車道」と呼んでいました。



西郷山公園



西郷隆盛銅像

【ハチ公の生みの親は鹿児島出身の彫刻家】
渋谷のシンボル、「忠犬ハチ公」。このハチ公像を造ったのが、鹿児島出身の安藤照氏であり、鹿児島市にある西郷隆盛銅像の作者でもあります。渋谷の住人で犬好きであった氏は、昭和9年にハチ公の銅像を造りました。現在のハチ公は再建されたものであり、照氏の子息でやはり彫刻家の安藤士氏の作品で、いわば2代目ハチ公像になります。



忠犬ハチ公像

このように、渋谷と鹿児島には歴史的つながりがあり、その文化等交流の一環として、渋谷・鹿児島おはら祭が開催されています。

「おはら祭」 名前の由来

おはら祭の名前の由来は、鹿児島の代表的な民謡「おはら節」から来ています。この民謡が生まれた一説として、江戸時代の初め、日向国安久(今の宮崎県都城)の武士が陣中で唄った唄を、鹿児島の原良(ハララ)の武士が帰国後、歌詞を作って唄い始め、それが鹿児島一円に広がるにつれ原良に“お(小)”が付いて現在の「小原(オハラ)節」と呼ばれるようになったとされています。おはら節踊りの振り付けには、桜島の形や煙が表されています。



桜島

< 「おはら祭」に関するお問い合わせ先 >
鹿児島市かごしまプロモーション推進室東京分室
担当:三浦 / 柿元 TEL:03-5226-5040(直通) FAX:03-5276-7150 MAIL:kpromo05@city.kagoshima.lg.jp
< 報道関係者様お問い合わせ先 >
「第13回 渋谷・鹿児島おはら祭」PR事務局(株式会社プラチナム内)
担当:宮原 / 菅 TEL:03-5572-6071 FAX:03-5572-6075 MAIL:y-miyahara@vectorinc.co.jp

リリース内の画像使用につきましては、PR事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。